

「名作文庫」通信



特集「探究と発見」

2015年

冬号

## 新しく入った本

「名作文庫」に新しく入った本をご紹介します。以前、ご紹介できなかった本も含まれております。一部、保存庫に所蔵されているものもあります。1階カウンターにてご請求ください。



### ジェイン・エア (上)

【著】シャーロット・ブロンテ 【訳】遠藤 寿子

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011883517

伯母に疎まれ、寄宿学校に入れられた孤児ジェインは、18歳の秋、自由と自立を望み旅立つ。家庭教師に雇われた邸で待つ新しい運命とは…。主人公の真率な語りが魅力的な、読みつがれる愛の物語。

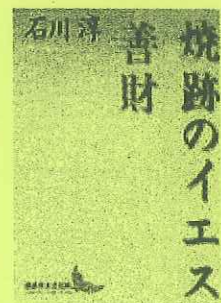


### 考えるヒント

【著】小林 秀雄

【刊】文春文庫 【資料番号】1012021034

「良心」について、「平家物語」、「花見」…。さりげない語り口で始まるエッセイは、思いもかけない発想と徹底した思索で、読者を刺激し新たな発見を与える。永遠に読み継がれるべき名著。



### 焼跡のイエス・善財

【著】石川 淳 【刊】講談社文芸文庫

【資料番号】1012026983

戦後無頼派と称された石川淳の超俗的な美学が結晶した代表作「焼跡のイエス」他、「山桜」「マルスの歌」「かよい小町」「善財」を収録し、戦前から戦後への軌跡を描く。虚構と幻想を織り交ぜた光景が鮮烈な精神を示す佳作6篇。



### 黒蜥蜴

【著】江戸川 乱歩 【刊】創元推理文庫

【資料番号】1012025829

左腕に黒蜥蜴の刺青をした美貌の黒衣婦人。社交界の花形にして暗黒街の女王。対するのは名探偵・明智小五郎。妖しい女賊と名探偵との宿命的な恋を描く長編推理小説。三島由紀夫の脚色による映画・舞台となり、時代を越える不朽の名作。挿絵・林唯一



### 怒りの葡萄

【著】スタインベック 【訳】伏見 威善

【刊】新潮文庫 【資料番号】1012134902

大銀行に土地を奪われたオクラホマ州の農民たちは、新天地カリフォルニアを目指したが…。ジョード一家に焦点をあて、1930年代のアメリカ大恐慌期に苦境を切り抜けようとする情愛深い家族の姿を描いた、不朽の名作。



### 河童

【著】芥川 龍之介 【刊】岩波文庫

【資料番号】1012027031

ある精神病患者の談話を筆録したという設定で描かれる、河童の住む奇怪で不思議な国の物語。この河童の国は、当時の日本社会を浮き彫りにした風刺と批判に溢れ、さらに自身の苦悩と困窮が影を落とす。死を予感しつつ書かれた晩年の名作8編を収めた作品集。



### 魔の山 (上)

【著】トーマス・マン 【訳】高橋 義孝

【刊】新潮文庫 【資料番号】1012024889

第一次大戦前、高原のサナトリウムで療養中の無垢な青年が、異国の婦人との愛や民主主義者、虚無主義者等との交流を経て自己を形成してゆく過程を描く。「人間」と「人生」の真相を追究するドイツ文学の大作。



## 探求と発見

緻密な観察と深い考察によって生み出された理論や、冒険探検によってもたらされた遺産は現代社会に今もなお影響し続けています。そんな偉人たちの探究心や冒険譚に触れてみませんか。名作文庫に収蔵されている作品をご紹介します。



### 原論文で読むアインシュタインの相対性理論

【著】唐木田 健一 【刊】ちくま学芸文庫  
【資料番号】1011823794

アインシュタインが発表した、特殊相対性理論に関する2篇の論文(全文)の邦訳を掲載。「座標」「関数」「ベクトル」など数学・物理の基礎から丁寧に説明した解説を付す。



### 古代への情熱 -シュリーマン自伝-

【著】シュリーマン 【訳】関 楠生  
【刊】新潮文庫 【資料番号】1010101796

神話に語られるトロイアは実在したのだと信じ、その遺跡を探すため資金を作り、驚異の語学力によって十数カ国語を身につける。ついにホメロスの事跡を次々と発掘し、考古学史上最も劇的な成功を遂げた男の波瀾に満ちた生涯の記録。



### フーコー・コレクション

【著】ミシェル・フーコー  
【編】小林 康夫・石田 英敬・松浦 寿輝  
【刊】ちくま学芸文庫 【資料番号】1011810445

フーコーの思想においては、知の役割は「絶対的な真理」を証明することではなく、それがどのようにして発生し、展開してきたか調べること(知の考古学)にある。〈狂気・理性〉〈言説・表象〉などテーマごとにフーコーの著作を集めたコレクション。



## 知ること

【著】渡辺 慧 【刊】ちくま学芸文庫  
【資料番号】1011794607

理論物理学の見地から、知覚のあり方を科学と数学によって得られた新たな考え方「認識学」。物理学や論理学を駆使しながら「知覚」の本質にまつわる謎をひもとくスリリングでユニークな科学哲学入門書。



## 野草雑記・野鳥雑記

【著】柳田 国男 【刊】岩波文庫  
【資料番号】1011937958

タンポポやツクシ、ヒバリやカラス。「時は幾かえりも同じ処を眺めている者にもみ神秘を説くのであった。」身近な友として野の草花・鳥たちを見つめ、呼び名・昔話に人の心を読む。民俗学者としての観察眼と叙情が溶けあう随筆集。



## 五輪書

【著】宮本 武蔵 【校注】渡辺 一郎  
【刊】岩波文庫 【資料番号】1011812276

どの様な戦いにも勝つのが武士である、とあって武蔵は、構え方、足の踏み方、目のつけ方などを具さに述べ、相手の強弱を知って先にしかけよとも説く。二天一流として世に知られる、剣法の奥義が具体的で納得のゆくように書かれ、長く読み継がれる。



## コン・ティキ号探検記

【著】トール・ヘイエルダール 【訳】水口 志計夫  
【刊】河出文庫 【資料番号】1011958103

古代ペルーの人々は太平洋を筏で渡り、ポリネシア人の祖先となつたのではないかとその仮説を自ら実証すべく、古代の筏を複製したコン・ティキ号に乗り、仲間たちと太平洋横断の航海に挑む。2013年公開映画の原作。



## あの人、あの一言。

名作に登場する忘れがたい人物やセリフ、そして文章をピックアップ。  
心の糧に、座右の銘に、雑談の種に。

失敗せざる魂、苦悩せざる魂、  
そしてより良きものを求めざる魂に  
真実の魅力はすくない。

### 坂口 安吾 「デカダン文学論」

岩波文庫「墮落論・日本文化私観、他二十二篇」収録

一個の人間として自分の人生を追及するために、時に常識と異なろうともそれを恐れて何もしないでいてはいけない。すなわちそれは「個」の発現であり、自分が自分として生きる事こそが最も重要だと断言し、ために葛藤し苦悩することに人生の意義がある。人間としての生き方に一石を投じる珠玉の名文。

### 「名作文庫」で読める坂口 安吾の作品

墮落論・日本文化私観 【刊】岩波文庫 【資料番号】1011943469

白痴 【刊】新潮文庫 【資料番号】1011799937

暗い青春・魔の退屈 【刊】角川文庫 【資料番号】1010144960

風と光と二十の私と・いずこへ 【刊】岩波文庫 【資料番号】1011943998

桜の森の満開の下・白痴 【刊】岩波文庫 【資料番号】1011799929

不連続殺人事件 【刊】角川文庫 【資料番号】1010144978

### 坂口 安吾 (さかぐち あんご)

1906年(明治39年)10月20日～1955年(昭和30年)2月17日

本名 坂口 炳五 (さかぐち へいご)。新潟県新潟市生れ。

幼稚園の頃より不登校になり、餓鬼大将として悪戯のかぎりを尽くしたようです。1926(大正15)年、求道への憧れが強まり、東洋大学印度哲学科に入学しますが、過酷な修行の末、悟りを放棄。1930(昭和5)年、友人らと同人雑誌「言葉」を創刊し、その翌年6月に発表した「風博士」が牧野信一に絶賛され、文壇の注目を浴びます。その後、「紫大納言」(1939年)などの佳作を発表しますが、世評的には不遇の時代が続きました。しかし1946(昭和21)年、鋭敏な感覚と明快な文章で当時の世相に鋭く切り込み、その批評精神を遺憾なく発揮した「墮落論」で一躍文壇の寵児となりました。「桜の森の満開の下」、「不連続殺人事件」など、戦後世相を反映した小説やエッセイ、探偵小説、歴史研究など、多彩な執筆活動を展開する一方、国税局と争ったり、競輪の不正事件を告発したりと、実生活でも世間の注目を浴び続けました。

太宰治や織田作之助と並ぶ「無頼派」のに属します。戦後を代表する作家として有名な坂口ですが、実生活はかなり破天荒で、生涯は長くありませんでした。





## いまこそ教養、「名作文庫」。

下井草図書館だけにある特別な本棚、「名作文庫」。

一度は読んでおきたい古今東西の名著名作を  
ハンディなサイズの文庫版・新書版で集めた本棚です。  
同じ作者の同じ作品がいろいろな本でそろっているので、  
1冊ごとに違う解説、違う注釈、違う翻訳に  
触れることができます。

題名だけしか聞いたことなかったあの作品、  
いまこそ手にとってご覧になりませんか？

### よりディープに楽しみたいあなたには 「名作文庫 蔵書紹介」「いまこそ名作！読書会」

実は「名作文庫」の一部は保存庫にしまわれています。

でも『名作文庫 蔵書紹介』を見れば大丈夫！

保存庫の本のこともバッチリ載っています。

読みおわって熱い感動を誰かに語りたいたい…と思ったら、  
『いまこそ名作！読書会』にその思いを投稿しましょう！  
投稿レビューは常時公開！同じ思いの誰かがいるかも。

季刊「名作文庫」通信

3・6・9・12月発行

杉並区立下井草図書館